

# ゆきの灯り

第24号  
平成30(2018)年  
12月発行  
油木協働支援センター  
TEL 82-0701  
FAX 82-2228

## 山陽新聞に掲載されました



**慣れぬ雪道 気を付けて**

油木地区は標高500m以上の山間部で、冬は雪に覆われる。移住者を中心に、雪道運転の危険性を伝える記事。

11月15日の山陽新聞に

【見よ来を住む Miraiyu】の活動をとり上げていただきました。

今年3月に開催した「移住者の体験を語る会」で冬場、雪道の運転や通行に困ったという意見が多く出たため、6月から凍結危険箇所マップ作りを開始し、今月ほぼ完成の目途がたったことを受けての取材でした。

Miraiyu(みらいゆ)では移住者の生活に役立つ情報を住民の方々に投稿してもらい、掲載していくホームページの計画も進んでいます。12月初めの幹事会で部長、副部長が事業提案をする予定です。




**凍結危険箇所マップ作成**

凍結危険箇所マップについて意見を交わすメンバーの話し合いの様子。

体験交流推進事業専門部会

来年度「一緒に未来を見つければプロジェクトin油木」を行います。その実証実験第3弾として31年3月23日(土)に「油木の未来交流会(仮称)」を行うことが決定しています。その第1回目の打ち合わせを行いました。

交流会当日は保育所、小学校、中学校の保護者の方々に参加をしていただき、油木での幸せや未来を考えます。具体的な内容が決まりましたら、ゆきの灯りやチラシ等でお知らせしますのでご確認ください。



交流会の執行委員  
岩田、岡、久保、伊藤

3月には東京の橋本さんも参加します



ほっぺたが落ちそう  
小野の新米



◇◇ 老若男女 大集合! ◇◇

小野 坂本さんが製作された唐臼



11月23日おいしい新米を食べる会【小野の将来を話し合う会 主催】に行ってきました。新米だけでなく、猪の生姜焼き、干し柿や野菜の天ぷら、キビ餅、生姜餅など調味料以外は全て小野産の贅沢なメニューでした。

参加者全員で右記のメニューをお喋りしながら作りました。来年はもっと住民の方以外の参加者が増えるように部会も継続的に協力していく所存です。

## 里山ウエーブ 追加編

里山ウエーブに申し込みをされていた東京の足田さん。先月の実習に日程が合わず、ひと月遅れで油木に来られました。足田さんは海外生活も長く、現在は東京でホテルの経営などをされています。

改修中の旧西川宅を皮切りに、いちばの町なみをゆっくり歩いて見学。夜はシビ工料理、神雷、地元の食材で作られた料理を堪能されました。

2日目は油木でモノ作りをされている人の話を聴きたいとの事でしたので、しめ縄づくりをされている馬屋原守さん宅訪問。百彩館で1万円の日本ミツバチの蜂蜜を購入いただいたご縁もあって小野の坂本行正さん宅訪問。様々な話を熱心に聴かれました。

センターでは地域の方やウエーブ関係者と協議。神石高原町の隣の人口47万の福山市。国道182の利便性を最大限に活かし、出来ることは何か。

足田さんは東京で先月油木に来られた参加者の皆さんに合流され、具体案作りに協力下さいます。



水野さん 久保さん 白熱した交流会



三輪酒造 津川さんと



小野の坂本行正さん宅 干し柿が輝いています

## いちば自治振興会との 防災訓練



11月28日(水)油木コミュニティセンターで防災訓練を行いました。いきいき百歳体操を終えられたいちば自治振興会の皆さんとセンター職員で「避難訓練と初期消火」を体験しました。消防署安田出張所の皆さんの協力により円滑に訓練を行うことが出来ました。

あなたです!  
火事を出すのも防ぐのも

## 油木のファンが 少しずつ増えて きています?

10月初旬に里山ウエーブつながりで、広島地酒や広島食材を東京でPRされている米田さんが油木に来られました。その米田さんからお便りをいただきました。

♡ 米田まりこさんより♡

この度縁があって、源流の里しんさかの今井さん宅に泊まらせてもらい、今井さんと夫と一緒にお話させて頂きました。「辛くてめんを使った蓮根きんぴらや栗ごはん、田舎汁など、美味しいおふくろ料理を振る舞っていただきました。今井さんは油木で盛んに栽培されている唐辛子を使った、ピリ辛調味料『辛くてごめん』を6年前に地域の皆さんと加工し、販売開始されました。今でも年間3千個売れるそうです。お母さんの凄いくところは、ただ個人で開発販売するだけでなく地域の方と一緒に約1年半試行錯誤しながら制作し、ついには加工場まで建てたそうです。驚きでした。

加工場も見学させてもらいましたが、食器衛生的にも理想的な構造で、広島県だけでなく中国地方の部でも高く評価され、東京であった「食品衛生指導員全国大会」でお母さんが発表されたそうです。

地域のみならず一緒にやられるその取り組みを東京の人たちに伝えられるように私も頑張りたいと再認識できた日となりました。ありがとうございました。



米田まりこさん

ゆきキッズクラブ

11月10日(土)のお茶教室では、炉開きという11月に行う茶事を習いました。盆点前を教わった後は、講師の小田緑さんが用意して下さったお汁粉を食べました。



ふくささばきを習うキッズ

11月17日(土)楽描き教室で松ぼっくりのツリーを作りました。その後はがき大の紙に来年の干支の猪の絵を描き、年賀状が出来上がりしました。



干支のいのししの絵を描くキッズ

ゆきなび 大人の教室

11月6日(火)に今年度3回目の茶道教室をしました。今回はイスに座ってお点前をする立礼式を習いました。

初めて参加する方も、お茶をいただく作法から習いました。



11月20日(火)の手芸倶楽部ではクリスマスに向けて、リースを作りました。かずらで作った土台にどんぐりや松ぼっくり、ひいらぎなどの自然の素材を使って、飾りつけをしました。

囲碁教室を11月24日(土)に行いました。囲碁は習得するのが難しいゲームです。今回は囲碁のルールなどが解るビデオを見ました。

ビデオを見た後に対局をしました。



熱心にビデオを見るキッズ

みそを丸めて容器へ詰める



11月29日(木)に講師に中平道正さんを迎えて、初企画みそ作り教室を開催しました。

最初に説明を聞き、中平さんに用意して頂いた材料を混ぜました。来年の9月にはおいしいみそが食べられる予定です。



みっちゃん(中平さん)の詳しい説明

参加者の声は「食べるのが楽しく」「丁寧に細かく教えてもらった」「みその作り方の工程がわかった」「地元のみそ屋さんのみそ作りを体験して良かった」などでした。

自治振興会より

小野自治振興会

去る11月11日小野地域敬老会が開催されました。当日は天候にも恵まれ多くの方が参加され敬老者をお祝いする楽しい1日となりました。写真は小野地域敬老会恒例のメインイベント「青空の会」とサポーターによる仮面舞踏会(今年のメインテーマは西城秀樹さん、トマト姫と狼さんでした。)



内海町へ  
いってききました

源流の里しんさか

「内海町の将来を考える会」との交流会「みかん狩り」のため、11月23日(金、祝)に福山市内海町を訪問しました。紅葉と暖かい日差しの中、20名が参加して海鮮せんべいづくりやみかん狩りを楽しみました。



海をバックに記念撮影

- 1月のゆきキッズクラブ
- お茶教室 12日(土)
- こんにやく作り体験教室 26日(土)
- 1月の大人の教室 茶道教室 15日(火)



幹事会で承認され、カシオのプロジェクターを購入しました。HDMI入力端子を備えているこのプロジェクター、操作が簡単でとても使いやすいです。自治振興会等での行事、学習会などにご利用下さい。センターに備品使用許可申請書がありますので、利用の際は提出をお願い致します。

源流の里しんさかの紹介  
会長 横山博則 その一



- 源流の里しんさかの取り組みについて紹介します。
- 総務省が平成21年度から地域おこし活動を応援する制度(地域おこし協力隊)を始め、これには「地域」づくり計画の策定が条件となっていました。これに新坂振興会は手を上げ、今日の活動に至っています。
- 最初(H21年度)に限界集落(8班中7班)に対する全戸聞き取り調査を実施しました。この調査で見えてきたことは以下のとおりです。
- ① 厳しい集落の実態 過疎高齢化による急速な地域活力の低下 農地山林の荒廃 草刈り等の共同作業困難 地域コミュニティ活動が低下 空家の増加 有害鳥獣被害の増加
  - ② 将来の不安 高齢者世帯の増加 緊急時の不安 若者がいないため災害時の不安 後継者がいない 健康不安 心の支えを必要とされている人の増加 自動車の運転が出来なくなった時の通院や日常の買い物困難
  - ③ 住民の思い このままでは、住み続けることが出来ない集落になってしまうが、この先もこのまま今の家に住み続けたい。
- 以上を基に振興会内で色々と話し合う中で「住み続けたいと思える地域づくり」を地域テーマに掲げ、取り組みを開始しました。
- ① 加工品の生産・販売強化・商品のPR活動(H22年) 地域の資源、人材を活用して「小さな産業を創設して」地域の元気を生産しよう!との事で地域全体で取り組みが出来る品(唐辛子の加工品 黒大豆を使った味噌 ゆず味噌 切り干し大根 餅 等)
  - ② 現在では唐辛子の加工のみ 商品名「辛うてこめん」 激辛・麴入りの振興会が資産を所有する為に「認可地縁団体」の認可(H22年・10月)
  - ③ ロゴマークの作成 地域内公募11点の内、地域伝説がある「河童」に決定(H22年・11月)
  - ④ 加工所の建設完成(H22年・12月)
  - ⑤ 保健所の営業許可取得 総菜製造業、味噌製造業、飲食店営業(H23年・1月 H24年・5月)
  - ⑥ 販売先13カ所、イベント 出店
  - ⑦ 組織名称変更 新坂自治振興会を源流の里しんさか(H21年8月)
- これは、加工品販売に馴染む名称が良いのではとの意見や、各種の資格取得に伴う規約の全面見直しがあったので合わせて変更しました。
- (平成31年1月号につづく)